

ウーマンラッシュアワー

たまたまフェイスブックで知った話題で、テレビ朝日のモーニングショー「そもそも総研」でも紹介。朝日新聞 12 月 28 日夕刊掲載の記事から。

リード—17 日放送の「THE MANZAI」(フジテレビ系)で披露された、お笑いコンビ「ウーマンラッシュアワー」の漫才が話題となっている。村本大輔(37)は地元の福井県に集中する原発から沖縄の基地問題、日米関係までを痛烈に風刺した。「難しい話に立ち向かう勇気がない」と、見る人たちをも挑発する。



ツイッターのフォロワーが 2 万人くらい増えて、痛快だとコメントしてくるんですよ。笑いに興味がなかった層にささっている。「THE MANZAI」で優勝したとき(2013 年)もこんなに語られることはなかったです。

《漫才での決めぜりふは「ようこそ〇〇へ」。「沖縄に住ませて」と言う相方の中川パラダイス(36)に、村本が沖縄が抱える問題を問う。「辺野古移設」「高江のヘリパッド」。東京五輪は日本全体で盛り上がるが基地は押しつけている、と掛け合う。

「沖縄に思いやりを持って」と中川が叫び、村本が「ようこそ沖縄へ」と手を握る。熊本、アメリカなどでくり返し、日本の問題は「国民の意識の低さ!」と締めくくる》

ニュース番組を(ネットテレビ局)AbemaTV で始めて、被災地に行かせてもらったり沖縄の基地の話の聞いたたりして、沖縄や原発についてツイッターで紹介すると無反応だった。「パンケーキを食べた」とかには「いいね」が押されるのに、スルー(無視)される。伝えるため、僕はお笑いにできる。ただ、日本で政治的なネタで笑いを取るのは難しい。舌に合うようにわかりやすく料理したんです。

沖縄で基地についてのネタをやったときに拍手が止まらなくなった。音響のおっちゃんも涙をためて「ありがとうね」と。沖縄の人は「無視されるのが一番つらい」と言うんですよ。

《放送後の反響は、村本への称賛・批判や、お笑い論へと広がっている》

「芸人としてどう」とか表面上の話ばかりしたがって、本質的な話をしようとしなない。難しいものに立ち向かう勇気がないんですよ。「あんなこと言ってたけどそうなのかな」って、きっかけにすればいいじゃないですか。

僕は沖縄の基地について、賛成も反対も言っていない。考えようと言っている。右も左もなく、相手を尊重しつつ、自分の考えを発信していけばいい。僕はいつも自由で、思ったままに発言する。僕の口と頭は、誰にも制限されることはないわけですからね。

(2018年1月6日)